

通信・外部接続

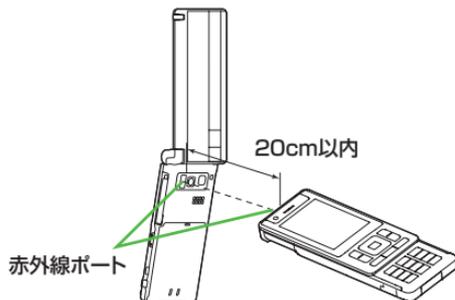
赤外線通信	11-2
赤外線通信をご利用になる前に.....	11-2
データを1件/複数件送受信する.....	11-3
データを全件送受信する.....	11-3
ICデータ通信	11-4
データを1件送受信する.....	11-5
データを全件送受信する.....	11-5
Bluetooth®	11-6
Bluetooth®をご利用になる前に.....	11-6
Bluetooth®機器を登録/接続する.....	11-7
Bluetooth®の機能を停止する.....	11-8
Bluetooth®機器を接続待ちにする.....	11-9
Bluetooth®通信で電話帳を送受信する.....	11-9
Bluetooth®に関する機能.....	11-10
Wi-Fi	11-11
Wi-Fiをご利用になる前に.....	11-11
Wi-Fi機能を有効/無効にする.....	11-12
アクセスポイントを登録/接続する.....	11-12
Wi-Fiに関する機能.....	11-15
ソフトバンクユーティリティソフト	11-16
USB	11-17
USBの接続モードを設定する.....	11-17
USBケーブルを使ってデータ転送をする.....	11-17
USBケーブルを使ってデータ通信をする.....	11-17
AV出力	11-18
本機をテレビに接続する.....	11-18

赤外線通信

赤外線通信をご利用になる前に

電話帳やスケジュール、メール、ブックマーク、撮影した画像などのデータを他の赤外線通信対応機器（パソコンや携帯電話など）とやりとりできます。

- 本機の赤外線通信機能は、IrMC 1.1規格に準拠しています。ただし、相手側の機器がIrMC 1.1に準拠していても、送受信できないデータがあります。
- 赤外線ポートが汚れていると、通信失敗の原因になることがあります。汚れているときは、傷がつかないように柔らかい布でふいてください。
- 直射日光が当たる場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、これらの影響によって正常に通信できない場合があります。
- 本機と赤外線通信対応機器の赤外線ポートを20cm以内に近づけてください。このとき、両方の赤外線ポートがまっすぐに向き合うようにし、データの送受信が終わるまで動かさないでください。また、間に物を置かないようにしてください。



赤外線通信で送受信できるデータ

データ	送受信条件	1件	全件
電話帳（オーナー情報）		○	最大1000件
スケジュール ^{*1}		○	最大1000件
予定リスト		○	最大100件
受信メール		○	最大3000件
送信メール		○	最大1000件
下書きメール		○	最大10件
メモ帳		○	最大20件
メロディ		○	×
静止画 ^{*2*}		○	×
動画 ^{*3}		○	×
ブックマーク（Yahoo!ケータイ、PCサイトブラウザ）		○	それぞれ最大100件
ウィジェット ^{*3}		○	×

○：送受信できます。 ×：送受信できません。

※1 登録した休日・記念日は送受信できません。

※2 Flash[®] 画像も含まれます。

※3 複数件の送受信もできます。

お知らせ

- 以下のデータは送信できません。
 - ・本機外への出力が禁止されているファイル
 - ・USIMカード内の電話帳やSMS
- データ受信中に本機に保存できるそれぞれの最大数に達すると、それ以上受信できません。（メモリ容量一覧➡P.19-25）

データを1件／複数件送受信する

- 赤外線通信で送受信できるデータについて (P.11-2)

データを送信する

1 送信するデータの画面で以下の操作を行う

送信するデータ	操作・補足
電話帳	> ☑[メニュー]→赤外線送信→電話帳送信
オーナー情報	> ☑[赤外線]
メール	> ☑[メニュー]→赤外線通信→1件
ブックマーク	> ☑[メニュー]→外部機器送信→赤外線送信→1件送信
静止画／動画／ウィジェット	> ☑[メニュー]→赤外線送信 ●複数件送信する場合は、☑[メニュー]→複数選択→送信するデータにチェック→☑[メニュー]→赤外線送信
上記以外	> ☑[メニュー]→赤外線送信

2 YES

データの送信を開始します。

データを受信する

メインメニューから ツール▶赤外線受信▶受信

1 データを受信したら、YES

30秒以内に送信側からデータを送信してください。

- 続けて受信する場合は、確認画面でYESを選択します。

データを全件送受信する

全件送受信時のご注意

- 全件受信すると、それまで登録していたデータはシークレットデータや保護データも含めすべて削除され、受信データで上書きされます。
- 電話帳を全件送信するとオーナー情報のデータも一緒に送信され、受信側のオーナー情報は自局番号以外すべて上書きされます。

認証パスワードについて

認証パスワードは赤外線通信やICデータ通信で全件送受信を行う際に任意に設定する4桁の数字です。受信側／送信側とも同じ認証パスワードを入力する必要があります。

データを全件送信する

1 送信するデータの画面で以下の操作を行う

送信するデータ	操作・補足
電話帳	> ☑[メニュー]→赤外線送信→電話帳全件送信
メール	> ☑[メニュー]→赤外線通信→全件
ブックマーク	> ☑[メニュー]→外部機器送信→赤外線送信→全件送信
上記以外	> ☑[メニュー]→赤外線全件送信

2 端末暗証番号を入力→認証パスワードを入力→YES

相手側で同じ認証パスワードを入力すると、データの送信を開始します。

データを全件受信する

メインメニューから ツール▶赤外線受信▶全件受信

- 1 端末暗証番号を入力→送信側で入力した認証パスワードと同じ番号を入力→**YES→YES**
登録しているデータが削除され、データの受信を開始します。

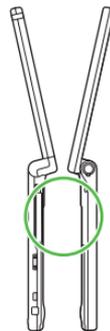
11

通信
・
外部接続

ICデータ通信

他のICデータ通信対応の携帯電話とかざすことで、リーダー／ライター機能を利用してデータの送受信ができます。

- 送受信できるデータの種類などは赤外線通信と同様です。
(☞P.11-2)
ただし、複数件送信はできません。
- ICカードロック** (☞P.13-12) を設定中はICデータ通信はできません。
- データを受信するときは、起動しているすべての機能を終了させてください。
- データを送受信しにくい場合は、マークどうしを近づけたり、遠ざけたり、または上下左右にずらしてください。
- 充電中はデータを送信できません。



マークを
お互いに合わせる

データを1件送受信する

ICデータ1件受信設定について

- ICデータ1件受信設定は、お買い上げ時はONに設定されています。OFFの場合、データの1件受信はできません。
- ON/OFFを設定するには：**メインメニューから**
ツール/S!アプリ▶おサイフケータイ▶ICカード設定
▶ICデータ1件受信設定▶ON/OFF

データを1件送信する

- 1 送信するデータの画面で以下の操作を行う

送信するデータ	操作・補足
電話帳	> ☑[メニュー]→ICデータ送信→電話帳送信
オーナー情報	> ㊟[IC送信]
メール	> ☑[メニュー]→ICデータ送信→1件
ブックマーク	> ☑[メニュー]→外部機器送信→ICデータ送信 →1件送信
上記以外	> ☑[メニュー]→ICデータ送信

2 YES

データを1件受信する

- 1 送信側と本機（受信側）の☑マークを合わせる
→YES

データを全件送受信する

- 全件送受信時のご注意/認証パスワードについて (P.11-3)

データを全件送信する

- 1 送信するデータの画面で以下の操作を行う

送信するデータ	操作・補足
電話帳	> ☑[メニュー]→ICデータ送信→ 電話帳全件送信
メール	> ☑[メニュー]→ICデータ送信→全件
ブックマーク	> ☑[メニュー]→外部機器送信→ICデータ送信→ 全件送信
上記以外	> ☑[メニュー]→ICデータ全件送信

- 2 端末暗証番号を入力→認証パスワードを入力
→YES

相手側で同じ認証パスワードを入力すると、データの送信を開始します。

データを全件受信する

- 1 送信側と本機（受信側）の☑マークを合わせる
- 2 YES→端末暗証番号を入力→
送信側で入力した認証パスワードと同じ番号を入力
登録しているデータが削除され、データの受信を開始します。

Bluetooth®

Bluetooth® 機器と本機をBluetooth® 通信で接続すると、以下の機能が利用できます。

機能	機器 (例)	内容
ハンズフリー通話 (☞P.11-10)	ヘッドセット ハンズフリー機器	ワイヤレスでハンズフリー通話ができます。
ワイヤレス再生 (☞P.11-10)	オーディオ機器	デジタルテレビやビデオの音声、ミュージックプレイヤーの音楽などを外部スピーカーなどからワイヤレスで再生できます。
インターネット接続 (☞P.11-10)	パソコン	本機を外部モデムのように使って、ワイヤレスでインターネットに接続できます。
電話帳の送受信 (☞P.11-9)	パソコン 携帯電話	電話帳のデータをワイヤレスで送受信できます。

こんなこともできます！

- 設定**
- 接続中のヘッドセット機器やハンズフリー機器に着信音を送信しない
 - ヘッドセット機器やハンズフリー機器で通話中にBluetooth® が切断されたときに本機で通話を継続する
 - ヘッドセット機器を接続していても常に本機から発信する
 - ハンズフリー機器接続中に発信／着信応答した場合、常にハンズフリー機器側で通話する (☞P.18-20)

Bluetooth® をご利用になる前に

本機のBluetooth® の主な仕様

通信方式	Bluetooth® 標準規格 Ver 2.0+EDR準拠
対応プロファイル*1	HSP: Headset Profile HFP: Hands-Free Profile A2DP: Advanced Audio Distribution Profile AVRCP: Audio/Video Remote Control Profile DUNP: Dial-up Networking Profile OPP: Object Push Profile
出力	Bluetooth® Power Class2
使用周波数帯*2	2.4GHz (2.402GHz~2.480GHz)
通信距離*3	約10m

- ※1 接続する相手機器もBluetooth® 機器であり、同じプロファイルに対応している必要があります。
- ※2 Bluetooth® 機器が使用する電波帯 (2.4GHz帯) は、さまざまな機器が共有しています。それらの影響によって、通信速度／通信距離が低下したり、通信が切断されることがあります。
- ※3 機器間の距離や障害物、電波状況、相手機器などにより変化します。

Bluetooth® 利用時のご注意

- 本機はすべてのBluetooth® 機器との接続／動作を保証するものではありません。
- 接続するBluetooth® 機器は、Bluetooth® SIGの定めるBluetooth® 標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。
- 接続するBluetooth® 機器がBluetooth® 標準規格に適合していても、相手機器の特性や仕様によっては接続できない、操作方法や表示／動作が異なる、データのやりとりができないなどの現象が発生することがあります。
- 通信を中断する操作を行った場合、実際に中断が完了するまでに時間がかかる場合があります。
- ワイヤレス通話やハンズフリー通話をするとき、接続機器や通信環境により雑音が入ることがあります。
- ヘッドセット機器／ハンズフリー機器の使いかたについては、各機器の取扱説明書を参照してください。
- Bluetooth® とWi-Fi機能を同時に使用することはできません。

Wi-Fi機器との電波干渉について

Bluetooth® とWi-Fi (IEEE802.11b/g) は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、Wi-Fiを搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- 本機やワイヤレス接続するBluetooth® 機器は、Wi-Fi機器と10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、Wi-Fi機器の電源を切ってください。

Bluetooth® 機器を登録／接続する

Bluetooth® 機器と接続するときは、あらかじめ本機にBluetooth® 機器を登録し、各機能に対応したサービスで接続する必要があります。

Bluetooth® 機器を検索して登録する

近くにあるBluetooth® 機器を検索し、検索・登録デバイスリストに登録します。

- 登録した機器は、次回からBluetooth® パスキーを入力する必要がなくなります。
- 一度に最大20件検索でき、最大10件検索・登録デバイスリストに登録できます。
- 登録する機器は、あらかじめ接続待ちの状態にしておいてください。

メインメニューから ツール▶ Bluetooth

▶ 検索・登録デバイスリスト

1 YES*

検索が始まり、本機に応答してきた機器のデバイス種別アイコンとデバイス名称が表示されます。

- 登録したい機器が表示されない場合は、 [検索] を押します。
- ※すでに登録した機器がある場合は、リスト表示の中から登録したい機器を選択→サービスを選択

2 機器を選択→YES→端末暗証番号を入力

3 Bluetooth® パスキーのテキストボックスを選択→Bluetooth® パスキーを入力

Bluetooth® に関する機能

共通操作 ▶ **メインメニューから ツール ▶ Bluetooth**

■ 検索・登録デバイスリスト画面表示中に利用できる機能

> 検索・登録デバイスリスト →  [メニュー] → 項目を選択（下記参照）

項目	操作・補足
デバイス登録	> 端末暗証番号を入力 → 登録の操作を行う (☞P.11-7手順3以降)
優先デバイス設定	音声電話やTVコール着信時に優先して接続するBluetooth® 機器を設定します。 ●ヘッドセットサービス対応のBluetooth® 機器のみ設定できます。 ●解除する場合は同様の操作を行います。
保護/解除	デバイス機器を保護/解除します。保護することによって削除や上書きされないように設定できます。
デバイス名称変更	> デバイス名称を入力
登録デバイス削除	> YES
登録デバイス情報	デバイス機器のデバイス名称やBluetooth® アドレス、デバイス種別、対応プロファイルを表示します。
ショートカット登録	ショートカットに登録します。(☞P.1-25)

■ Bluetooth® 機器を使ってワイヤレスでハンズフリー通話する

> 検索・登録デバイスリスト → 機器を選択 → ヘッドセット/ハンズフリー → YES → Bluetooth® 機器で電話をかける/受ける

■ Bluetooth® 機器を使ってワイヤレスで再生する

> 検索・登録デバイスリスト → 機器を選択 → オーディオ → デジタルテレビを視聴/動画やビデオ、音楽を再生
●SCMS-T方式の著作権保護に対応しているA2DP対応Bluetooth® 機器でのみデジタルテレビやビデオの音声を再生できます。

■ Bluetooth® 機器を使ってワイヤレスでインターネット接続する

> 検索・登録デバイスリスト → 機器を選択 → **ダイヤルアップ**

- ダイヤルアップ接続待ち状態になります。
- Bluetooth® 機器のモデム設定や操作のしかたについては、ご使用になる機器の取扱説明書を参照してください。パソコンをご利用の場合、パソコンにユーティリティソフトウェア(941P)の「Modem Wizard」を下記のURLよりダウンロードし、インストールする必要があります。
<http://panasonic.jp/mobile/support/download/941p/index.html>
- ダイヤルアップ接続方法については、「Modem Wizard」のヘルプを参照してください。
- 携帯電話にパソコンやPDAを接続してインターネットをご利用になる場合は、短期間で大量のパケット通信が行われることが多く、パケット通信料が高額になる可能性があります。通信料を確認しながらのご利用をおすすめします。

■ Bluetooth® 機器をダイヤルアップ登録待ちにする

> **ダイヤルアップ登録待ち** → 端末暗証番号を入力 → YES → Bluetooth® パスキーのテキストボックスを選択 → Bluetooth® パスキーを入力

Wi-Fi

Wi-Fiは、無線LAN機能を利用して自宅や公衆の無線アクセスポイントに接続し、インターネットが利用できるサービスです。高速インターネットアクセスや高画質動画などが楽しめます。

- 本機のWi-Fi機能は、IEEE802.11b/g規格に準拠しています。
- Wi-Fi機能の利用には、別途お申し込みが必要です。
- 接続可能なアクセスポイントや公衆無線LANについては、パソコンから下記のサイトをご覧ください。（接続手順の詳細についてもご案内しています。）

<http://panasonic.jp/mobile/softbank/941p/function/wifi.html>

Wi-Fiをご利用になる前に

Wi-Fi利用時のご注意

- **Wi-Fi機能使用中は、電波状況に応じて自動的にWi-Fi通信と3G通信を切り替えます。3G通信に切り替わるとパケット通信料がかかりますので、ご注意ください。**（切り替え時に確認画面を表示するにはP.11-16）
- 本機はすべてのWi-Fi対応機器との接続/動作を保証するものではありません。
- Bluetooth® とWi-Fi機能を同時に使用することはできません。
- Wi-Fi機能を利用したメールの送受信はできません。
- Wi-Fi機能使用中は、データや情報の漏洩などの危険性があります。安全のためにもセキュリティ設定（P.11-14）の利用をおすすめします。
- Wi-Fi通信完了後またはWi-Fi機能が有効で待機状態のときにバックライトが消灯すると、Wi-Fi機能は無効になります。バックライトが点灯すると再び有効の待機状態になります。
- 海外ではWi-Fi機能を利用できません。

Bluetooth® 機器との電波干渉について

Wi-Fi（IEEE802.11b/g）とBluetooth® は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、Bluetooth® を搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- 本機やワイヤレス接続するWi-Fi機器は、Bluetooth® 機器と10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、Bluetooth® 機器の電源を切ってください。

Wi-Fiご利用開始までの流れ

利用環境や接続に必要な情報の確認

- 接続先（アクセスポイント）の設定に必要な情報はアクセスポイントによって異なります。
- セキュリティ情報が必要な場合があります。

アクセスポイントの登録／接続

アクセスポイントの登録／接続方法を選んで登録／接続します。

通信の開始

- Wi-Fi圏内に入ると、通信が可能になります。
- Wi-Fi状態アイコンについて（☞P.11-13）

Wi-Fi機能を有効／無効にする

1 （長押し）

ON（有効）になると、Wi-Fi状態アイコン（☞P.11-13）が表示されます。

お知らせ

- メインメニューから ツール▶Wi-Fi▶ON/OFF設定でも設定の切り替えができます。

アクセスポイントを登録／接続する

アクセスポイントの登録／接続には、以下の方法があります。

検索/設定	アクセスポイントを検索して登録／接続します。
手動設定	手動で登録／接続します。
AOSS	AOSS™（AirStation™ One-Touch Secure System）を利用して登録／接続します。 AOSS™対応のアクセスポイントであれば、アクセスポイントのAOSSボタンを押すだけで、接続設定やセキュリティ設定を自動的に設定します。
BBモバイルポイント	BBモバイルポイントを利用して登録／接続します。 ●BBモバイルポイントはあらかじめ登録されています。ご利用について詳しくは、ソフトバンクテレコムのホームページをご覧ください。 http://tm.softbank.jp/consumer/wlan/index.html

- 最大10件まで登録できます。
- あらかじめ登録されているアクセスポイントに接続するには、ユーザーIDとパスワードが必要です。（公衆無線LAN設定 ☞P.11-14）
- アクセスポイント機器側の設定や操作については、アクセスポイント機器の取扱説明書を参照してください。
- アクセスポイントのチャンネル設定が12～14chで、ステルスモードに設定されている場合、Wi-Fi接続はできません。

お知らせ

- メインメニューから ツール▶Wi-Fi▶アクセスポイント検索でアクセスポイントを検索して接続することもできます。その場合、接続後に登録できます。
- あらかじめ登録されているアクセスポイントは、USIMカードを入れ替えると接続先一覧から削除される場合があります。BBモバイルポイントは、簡単に再設定できます。（☞P.11-15）

アクセスポイントを検索して登録／接続する

メインメニューから ツール▶Wi-Fi▶接続先一覧/設定

1 [Y] [メニュー]→新規設定→検索/設定

Wi-Fi機能をONにするかどうかの確認画面が表示された場合は、**YES**を選択します。

アクセスポイント検索一覧画面が表示されます。

- 再度検索するには：[検索]

2 接続先を選択

3 [登録]→YES

アクセスポイントを登録します。

4 [接続]→YES

アクセスポイントに接続します。

■ アクセスポイント検索一覧画面について

Wi-Fi状態アイコン

Wi-Fi機能がON（圏外）

Wi-Fi機能がON（圏内）

Wi-Fi通信中

※ 水色のアーチ部分が多いほど電波状態は良好です。

1 接続先名

検出されたSSID（ESSID）が表示されます。登録済みのアクセスポイントが検出された場合は、接続先名が表示されます。

2 接続先登録状態

✓：登録済み（未接続）

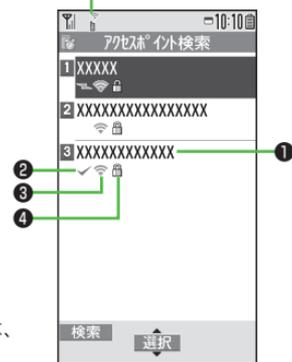
✈：登録済み（接続中）

3 電界強度

電波状態が表示されます。

4 セキュリティ状態

セキュリティ設定がある場合に表示されます。



アクセスポイント検索一覧画面

11

通信・外部接続

手動で登録／接続する

- あらかじめ各アクセスポイントの情報（SSID、セキュリティや暗号化の種類、暗号化キー番号など）を確認しておいてください。詳しくは、各アクセスポイント機器の取扱説明書を参照してください。

メインメニューから ツール▶Wi-Fi▶接続先一覧/設定

1 [メニュー] → 新規設定 → 手動設定

2 項目（下記参照）を選んで [編集]

項目	操作・補足
接続先	> 接続先名を入力
SSID	> アクセスポイントと同じSSID（ESSID）を入力
IP設定	IPアドレスとDNSサーバの設定をします。 > IPアドレス設定／DNSサーバ設定→ [編集] → 自動／手動（→手動の場合、各項目を編集）
セキュリティ設定	登録するアクセスポイントに応じて、セキュリティや暗号化の種類を設定します。 > セキュリティの種類を選択 ・ WEP → WEPキー番号を入力 → 暗号化の種類を選択 → 暗号化キー番号を入力 ・ WPA/WPA2-PSK / WPA2-PSK → 暗号化の種類を選択 → 暗号化形式を選択 → 暗号化キー番号を入力 ● セキュリティ設定を解除するには： 暗号化なし

公衆無線LAN設定 公衆無線LANサービスを利用するかどうかの設定をします。

> ON / OFF（→ONの場合、ID / パスワード → [編集] → ID / パスワードを入力）

- すべての公衆無線LANサービスとの接続を保障するものではありません。

3 [登録] → YES

アクセスポイントを登録します。

4 [接続] → YES

アクセスポイントに接続します。

AOSS™を利用して登録／接続する

- アクセスポイント機器側の操作については、アクセスポイント機器の取扱説明書を参照してください。

メインメニューから ツール▶Wi-Fi▶接続先一覧/設定

1 [AOSS]

- 接続済みのアクセスポイントがある場合、切断してから設定を行うには、**YES**を選択します。

2 アクセスポイントのAOSSボタンを押す

120秒以内に行ってください。
設定が完了すると、確認画面が表示されます。

3 [登録]→YES

アクセスポイントを登録します。

4 [接続]→YES

アクセスポイントに接続します。

Wi-Fiに関する機能

■ 接続先一覧/設定画面表示中に利用できる機能

- > **メインメニューから ツール▶Wi-Fi▶接続先一覧/設定**
▶  [メニュー]▶項目を選択 (下記参照)

項目	操作・補足
接続	登録済みの接続先に接続します。 > YES
優先度の変更	登録済みの接続先の優先度を変更します。 > 接続先を選択→  で場所を移動→  →  [完了]
新規設定	> 項目を選択 ・ AOSS ( 左記手順2以降) ・ 検索/設定 ( P.11-13手順2以降) ・ 手動設定 ( P.11-14手順2以降)
BBモバイルポイント設定	ユーザーIDとパスワードを入力してBBモバイルポイントを登録します。 > 項目を選択→  [編集]→ユーザーID/パスワードを入力→  [登録]
編集	> 編集
コピー	登録済みの接続先をコピーします。
削除	> 削除方法を選択 ・ 1件削除 → YES ・ 選択削除 →接続先にチェック→  [完了] → YES ・ 全削除 →端末暗証番号を入力→ YES

■ 接続情報を確認する

- > **メインメニューから ツール▶Wi-Fi▶接続情報表示**

- 情報を更新するには： [更新]

- Wi-Fiと3Gの切り替え時に確認画面を表示する
《お買い上げ時》表示しない
- > メインメニューから ツール▶ Wi-Fi▶ Wi-Fi/3G切替確認
▶ Wi-Fi切替/3G切替▶表示する
- MACアドレスを確認する
- > メインメニューから ツール▶ Wi-Fi▶ MACアドレス

ソフトバンクユーティリティーソフト

ソフトバンクユーティリティーソフトを利用すると、ソフトバンク携帯電話の電話帳、カレンダー、予定リスト、メール、ブックマーク、メモ帳、データフォルダなどをパソコンで閲覧/編集することができます。

- ソフトバンクユーティリティーソフトの詳細、およびダウンロードについては、下記のURLなどで、ご確認ください。
<http://www.softbank.jp/mb/r/sbu/>

お知らせ

- ソフトバンクユーティリティーソフトをご利用になるには、USBケーブル（オプション品）が必要になります。
- データフォルダのS!アプリ/PC動画/TV/生活アプリ/ブック/きせかえアレンジ/デコレメールテンプレート/フォント/その他ファイルはバックアップできません。
- 著作権保護ファイルはバックアップできない場合があります。
- USBモード設定は通信モード**に設定してください。
(☞P.11-17)

USB

本機とパソコンを指定のUSBケーブル（オプション品）で接続して、データ転送やデータ通信ができます。

USBの接続モードを設定する

（お買い上げ時）通信モード

メインメニューから 設定 ▶ 外部接続 ▶ USBモード設定

1 項目を選択（下記参照）

項目	操作・補足
通信モード	パケット通信、64Kデータ通信、データ送受信やUSBハンズフリー対応機器での通話ができます。（☞P.11-16）
microSDモード	microSDカード内のデータの読み込み／書き込みができます。（☞P.10-23）
MTPモード	パソコン上のWindows Media® Playerとの間で楽曲データの転送、削除などができます。（☞P.9-4）

USBケーブルを使ってデータ転送をする

- ソフトバンクユーティリティソフトを使って転送する（☞P.11-16）
- microSDモードを使って転送する（☞P.10-23）

USBケーブルを使ってデータ通信をする

パソコンと本機を接続して、本機を外部モデムのように使ってインターネットに接続できます。

- ユーティリティソフトウェアを下記のURLよりダウンロードしてインストールする必要があります。
<http://panasonic.jp/mobile/support/download/941p/index.html>

1 ユーティリティソフトウェア（941P）の「USBドライバ」と「Modem Wizard」をパソコンにダウンロードし、インストールする

2 本機を**通信モード**（☞左記）に設定し、パソコンと本機をUSBケーブルで接続する

- USBケーブルの接続は、本機の電源を入れた状態で行ってください。

3 「941P Modem Wizard」を起動し、通信設定を行う

- 「Modem Wizard」は、APNやダイヤルアップの設定が簡単に行えるツールです。
設定方法、起動方法については、「Modem Wizard」のヘルプを参照してください。

お知らせ

- 携帯電話とパソコンやPDAを接続してインターネットをご利用になる場合は、短期間で大量のパケット通信が行われることが多く、パケット通信料が高額になる可能性があります。通信料をご確認いただきながらご利用されることをおすすめします。

11

通信・外部接続

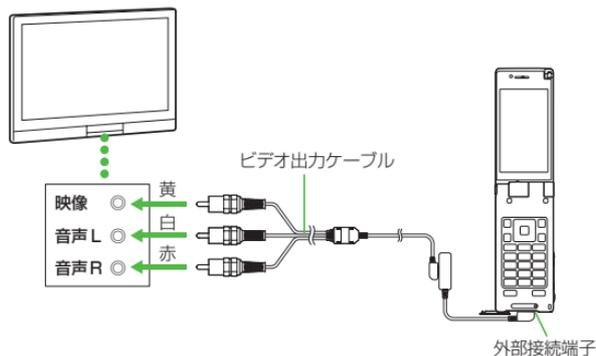
AV出力

当社指定のビデオ出力ケーブル（オプション品）を使って、TVコール中の画像、デジタルテレビ、本機に保存した静止画や動画をテレビなどに表示できます。

- AV出力対応のS!アプリを表示することもできます。

本機をテレビに接続する

- ビデオ出力ケーブル（オプション品）を使用するには、ステレオイヤホン変換ケーブル（オプション品）が必要です。



- 1 外部接続端子のカバーを開ける
- 2 変換ケーブルを使用して、ビデオ出力ケーブルを本機に接続する
 - 接続方法について（P.1-4）

- 3 ビデオ出力ケーブルをテレビの映像／音声入力端子に差し込む

- 4 テレビ出力したい画像を本機に表示

- 動画の画面サイズを切り替えるには：(M)

お知らせ

- ファイルによってはテレビ表示できない場合があります。
- 画面サイズの切替機能については、テレビの種類によっては、切り替わらない場合があります。